

質問事項	質問の要旨
1 災害時の安全対策について	<p>7月30日の朝に、カムチャツカ半島付近で地震が発生し、本町も含めた太平洋沿岸で津波警報が発令されました。</p> <p>本町の産業区では避難指示が発表され、町内外の多くの方が避難をしました。そこで伺います。</p> <p>(1) 避難行動や避難所生活における課題や今後の対策について、見解を伺います。</p> <p>(2) 今回は暑さの中での避難となり、避難場所での暑さ対策が重要になります。女川小中学校の体育館や総合体育館等の避難場所における冷房設備の設置や冷却パットの備蓄などの対策が重要と考えますが、見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>
2 猛暑の中での暮らし	<p>気候変動などの影響により気温が上昇し、宮城県内でも猛暑日が年々増加しています。自治体としても、熱中症対策や猛暑の中での暮らしを守る環境づくりについて、これまで以上に取り組むことが重要だと考えます。そこで伺います。</p> <p>(1) 熱中症の発生場所として最も多いとされているのが住宅です。経済的理由で使用できるエア</p>

質問事項	質問の要旨
	<p>コンがない生活困窮者に対し、エアコンの購入及び設置、修理に必要となる費用を助成することで、熱中症による健康被害の予防につながると思えますが、見解を伺います。</p> <p>(2) 屋外活動での熱中症防止として、ミストファンやミストシャワー設置が有効と思えます。活用場所としては、保育所・小学校・中学校・運動施設・商店街・イベント時などが挙げられます。常設や移動式を問わず導入についての見解を伺います。</p> <p>(3) 夏の暑さの影響で、屋外で子どもが遊べる場所や時間帯も限られています。このような状況下で屋外でも、体温の上昇を防ぎながら水に親しめる遊び場として、噴水等の水辺の設置により魅力向上が図られます。マッシュパークなどの海岸エリアの一角に設置することで、夏場でも町内外の方が訪れる名所にしてはと思えますが、見解を伺います。</p> <p>(質問の相手：町長、担当課長)</p>